

災害時食品供給 流通業者と協定

小山市、栃木市

【小山・栃木】小山市と栃木市はこのほど、それぞれ食品流通業「ジャパソルト」（東京都）と、災害時における生活物資の供給協力に関する協定を結んだ。

小山市は卒島そしまに同社栃木支店がある。協定では、同社が災害時に市の要請に基づいて食塩などの生活物資を優先的に供給する。同市が企業、団体と同様の協定を結ぶのは22件目。

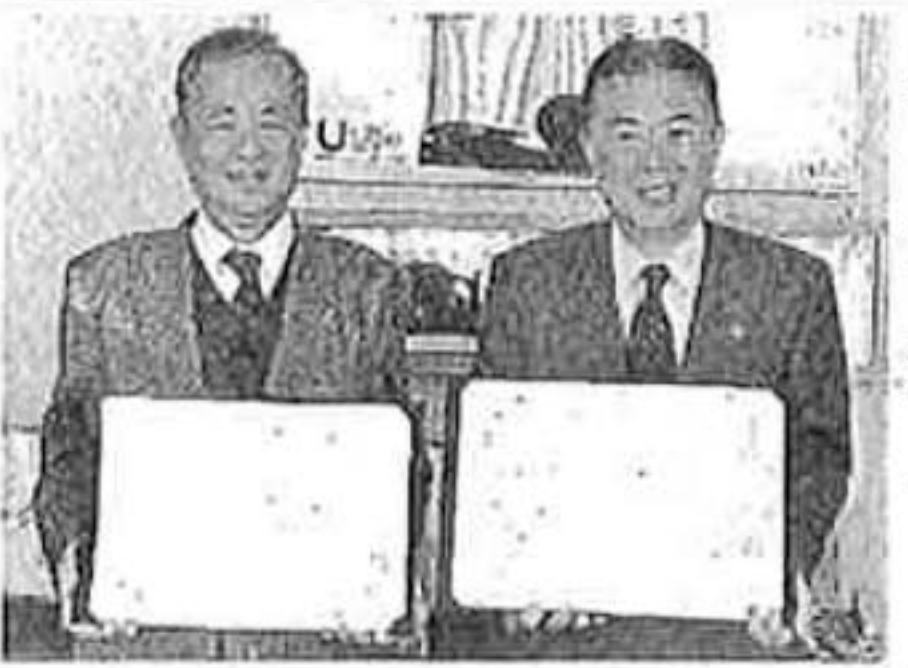


協定書に署名、押印する大川名誉会長（右）と大久保市長

同社は、前身の栃木塩業時代から栃木市片柳町に倉庫を構える。協定では大規模な災害時に同市が同社に要請すると、食塩や食料を無償で市の指定場所に配送するとしている。

栃木商工会議所会頭で同社名誉会長の大川おおかわ吉弘よしひろ氏らが、小山市役所と栃木市役所を訪れ、大久保おおくぼ寿夫としお小山市長、鈴木すずき俊美としみ栃木市長とそれぞれ協定書に署名した。

大川氏は「塩は生活に欠かせない基本物資。地域に貢献するため全面的に協力したい」などと話した。



災害時協定を締結した大川名誉会長（左）と鈴木市長